



YMCA International Charity Run 2023

あなたが走るとハッピーになる
子どもたちが増えます。



主催・共催 | Host/Co-host

全国各YMCA YMCAs of Japan
ワイズメンズクラブ国際協会東・西日本区
The International Association of Y's Men's Club
日本YMCA同盟
The National Council of YMCAs of Japan



National Sponsor
Mitsubishi Corporation

Prize Sponsor



Supporting Sponsor



YMCAインターナショナル・チャリティーランは、
みなさまの助けを必要としています。

The YMCA International Charity Run asks for your support.

ご協力の方法
How to Contribute

協賛をする

Sponsorship

賞品などの物品を提供する

Contribute donations
in prizes and goods

ランナーやボランティア
として参加する

Participate as
runners and volunteers

温かいご支援をお願いします。
We appreciate your generous support.

<事務局>

日本YMCA同盟

The National Council of YMCAs of Japan

Tel.03-5367-6640
E-mail : info@japanymca.org
URL : https://www.ymcajapan.org/

あなたの助けを必要としている子どもたちがいます。 YMCAインターナショナル・チャリティーランに、 ご参加・協賛ください。

Children are encouraged by your effort to run
Join the YMCA International Charity Run!



1987年、国際賛助会 (FCSC) の主催により、全国初のチャリティーランが東京で開催されました。現在は、YMCAインターナショナル・チャリティーランとして、全国21カ所に広がり、年間を通じて多くの皆さまにランナーやボランティアとしてご参加いただいています。そして、これまでに7億8千万円以上のご寄附をお寄せいただきました。チャリティーランへの参加費やご寄附は、すべてYMCAが全国で展開する「子どもたちの特別支援プログラム」に充当させていただきます。

YMCAインターナショナル・チャリティーランは、障がいのある子どもたちも、そうでない子どもたちも、ともに幸せに生きていける社会を目指して開催されています。現在、YMCAでは年間400のプログラムを実施し、約3,140名の子どもたちが参加していますが、全国の障がいのある子どもたちが参加できるようになるまでは、まだまだ遠い道のりです。障がいのある子どもたちへの社会的な関心を高める機会として、より多くの方々にチャリティーランにご参加・協賛いただくことで、障がいのある子どもたちのためのプログラムが増え、多くの子どもたちが参加できるようになります。

チャリティーランのスローガン「LOVE ON THE RUN」は、私たちの感じていることや、行動指針を表したものです。チャリティーランは、すべての人への思いやりを行動にし、周りにいる人たちに伝える方法のひとつなのです。ランナーやボランティアとしての参加、経済的なご支援など、あなたの思いやりを、どうぞかたちにしてください。

コロナ禍の 経験を生かして YMCAインターナショナル・ チャリティーラン2022

日本YMCA同盟 会長 川本龍資



昨年度のYMCAインターナショナル・チャリティーラン2022は、全国18の会場で開催いたしました。

各地のYMCAがそれぞれの開催地の感染状況をみながら、開催の方法を決定していきました。コロナ禍での経験を活かしウェブ開催を選択したところ、感染対策を講じて集合形式の開催を選択したところ、ウェブと集合形式の両方を選択したところと3つの方式でチャリティーランが開催されました。

集合形式で開催した大会では、3年ぶりの開催や、中には4年ぶりの開催となったYMCAもありました。募集開始と同時に申し込んでくださった障がいのある子どもたちのチーム、隣の県から遠征して参加してくださった小学生のチーム、「やっぱりチャリティーランは楽しい!」と言ってくださった方など、コロナ禍で中止になった年もありましたが、変わらずご参加くださる方々に心より感謝をお伝えしたいと思います。

ウェブ開催が3回目となったYMCAでは、期間を延長してより多くの方に参加していただいたり、各チームの代表者会議をウェブで行ったり、公園にフォトスポットを設けて記念撮影や、チームの皆さまの待ち合わせ場所として利用していただいたりと、ウェブ開催にも進化が見られました。

開催が感染ピークと重なってしまい開催を断念した開催地や、台風の進路となってしまい参加される皆様の安全を優先し中止を決めた開催地もございましたが、開催18カ所 (集合形式: 13YMCA、ウェブ形式: 2YMCA、集合とウェブのハイブリッド: 3YMCA) の参加者数は2021年度の5,000名から約7,600名へ増加となりました。多くの皆様に支えられ、このまで支援の輪を広げることができました。継続して参加された皆さま、新たにご参加くださった皆さま、物心両面でお支えくださった多くの皆さまに心からの感謝を申し上げます。

今年度も工夫をこらした開催を企画し、障がいのある子どもたちに寄り添う活動を展開する所存です。ご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

The YMCA organized its first Charity Run in Tokyo in 1987 hosted by the FCSC/Foreign Community Supporting Committee. The program has since expanded in scope to include runs in 21 prefectures throughout Japan involving many runners and volunteers participating every year. These events to date have raised more than 780 million yen in donations and participation fees; these contributions are used for the YMCA's challenged children programs throughout Japan.

The YMCA International Charity Run event and fund raising is aimed to help create a society where challenged children and children without any disabilities can live happily together. At present, YMCAs carry out about 400 programs per year and about 3,140 children participate in these programs. The Charity Run provides an opportunity to raise social awareness in challenged children and increase support for challenged children support programs. As more people participate and support the Charity Run, the programs will enable more children to participate.

"Love on the run", the Charity Run's slogan represents the essence of our operating spirit. The Charity Run provides an opportunity for people to engage, participate and support these programs.

Please support this Charity Run through your participation and/or financial contribution.

Take advantage of the Corona Disaster Experience YMCA International Charity Run 2022

By Ryushi kawamoto, President
The National Council of YMCAs of Japan

Last year, the YMCA International Charity Run 2022 was held at 18 venues throughout Japan.

The YMCAs in each region decided how to hold the event, looking at the infection situation at each site.

The charity run was held in three different ways: some chose to hold the event on the web because of the experience with the Corona Disaster, some chose to hold the event in a meet-up style to prevent infection, and some chose to hold the event both on the web and in a meet-up style.

It was the first time in three years that the tournament was held in a meeting format, and in some YMCAs, it was the first time in four years.

We would like to express my sincere gratitude to those who have continued to participate in the event despite its cancellation for one year due to the Corona disaster, including a team of children with disabilities who signed up as soon as the application period started, a team of elementary school students who came from neighboring prefectures, and a person who said, "Charity runs are fun after all."

The YMCA, now in its third year of web-based events, has seen an evolution in web-based events. For example, the period was extended to allow more people to participate, team representative meetings were held online, and a photo spot was set up in the park for commemorative photos and a meeting place for the teams.

Some sites had to cancel their events because they coincided with the peak of the infection season, while others had to cancel their events due to the path of a typhoon, prioritizing the safety of all participants.

The number of participants at the 18 sites (13 YMCAs for the meeting format, 2 YMCAs for the web format, and 3 YMCAs for a hybrid of the meeting and web format) increased from 5,000 in FY2021 to approximately 7,600 participants.

With the support of many of you, we have been able to expand our circle of support to this point. We will continue to plan creative events this year and develop activities that are close to children with difficulties. We look forward to your support and cooperation.



YMCA「子どもたちのための特別支援プログラム」 YMCA Children Supporting Programs

みなさまのご寄附・参加費が、子どもたちの未来につながります。

All your donations and participation fees will contribute to the future of the children.

YMCAが全国で展開する「子どもたちの特別支援プログラム」は、チャリティーランにお寄せいただいた寄附金や参加費などで運営されています。このプログラムは、発達障がい、知的障がい、肢体障がいなどによって日常生活に困難が多い子どもたちが、自信を持って心豊かな生活を送れるようになることを目的に運営されています。特別支援プログラムは他のプログラムに比べて、きめ細かな対応や、多くのスタッフが必要となることもあり、より多くの参加を希望する子どもたちを受け入れるためにも、みなさまからのご支援を必要としています。

YMCA challenged children programs throughout Japan are supported by donations and participation fees from the Charity Run. These programs are provided for children with development difficulty, intellectual difficulties, and physical difficulties who face many challenges in their daily lives to lead confident and fulfilling lives. The aim of the programs is for these children to lead a spiritually enriched life with abundant self-esteem and confidence. The challenged children programs require the careful and full attention of numerous staff. Additional financial support will enable more children to participate in these programs.

こんな子どもたちがいます。 Situation of the Children

- 発達障がい、知的障がい、肢体障がいなどによって日常生活に困難が多い子どもたち。
- とくに発達障がいは、聞く、話す、読む、書くなどの領域や、社会性、運動面における困難さを持っていることで、学校で孤立してしまったり、引きこもりや不登校になったりするケースが多い。

- 障がいの度合いにより、障がいの認定されないケースもある「目に見えにくい障がい」であり、社会の認知も低いため、本人やそのご家族が人知れず苦しんでいることも多い。発達障がいの児童は、35人学級のうち3名にのぼるとされている。

- 国や公的機関の支援も十分でなく、ご家族の負担も大きい。

- Children with developmental, intellectual, or physical disabilities who have many difficulties in their daily lives.
- In particular, developmental disabilities often result in isolation at school, withdrawal, and truancy due to difficulties in the basic skills of listening, speaking, reading, and writing, as well as social skills and struggle with light sports.
- Mild cases of developmental disabilities which are difficult to identify are often not authorized as disabilities. As these disabilities have low social awareness, the child and their families often struggle in addressing these concerns. It is said that there are 3 children with cases of developmental disabilities in a 35 children class.
- There is not enough governmental support and these families must bear a heavy financial and emotional burden.

YMCA インターナショナル・ チャリティーラン 主催・共催団体紹介

The host and co-host
for the YMCA International
Charity Run

● YMCA

YMCA (Young Men's Christian Association) は、産業革命下のロンドンで1844年に設立されました。当時は、農村から都市部に出てきた青少年たちが、機械の働きのように働かされ、仕事と寝るだけの生活を送っていました。呉服店の店員だった22歳のジョージ・ウィリアムズは、こういった青少年たちが、生きる意味を見つめ、孤立から連帯し、積極的な人生を送れるようにYMCAを設立したのです。日本では、1880年に東京YMCAが設立されました。YMCAは、イエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、すべての人々の成長を願う社会教育団体として、現在では世界120の国と地域で6,500万人の会員が、チャリティー活動や国際プログラム、ウェルネス活動などに取り組んでいます。

● ワイズメンズクラブ国際協会東・西日本区

ワイズメンズクラブは、YMCAが行う青少年のためのプログラムを支援することを目的に、1922年に米国オハイオ州で誕生しました。日本では1932年に設立され、現在は全国134クラブ、2,181名の会員が、YMCAの活動の支援をはじめ、国際交流、地域社会への奉仕事業、若者の交換留学などの活動を行っています。

あなたの思いやりが、
全国の子どもたちに広がります。

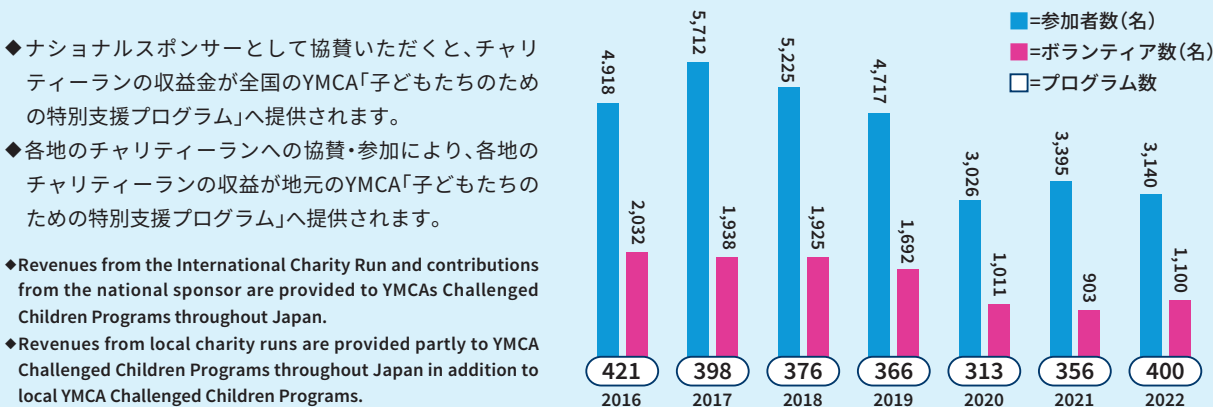
Your thought is transmitted
to children throughout Japan



YMCA インターナショナル・チャリティーラン 寄附金の流れ Flow of the YMCA International Charity Run Donation

YMCAインターナショナル・チャリティーランの収益金はすべて特別支援プログラムに使われます。全国YMCAではおよそ400のプログラムを実施し、約3,140名の子どもたちが参加しています。

All revenues from the YMCA International Charity Runs are used for challenged children support programs. About 400 programs are carried out by YMCAs through the country and about 3,140 children participate in them.



こんなプログラムを実施しています。 Example of Programs:

YMCA「子どもたちの特別支援プログラム」は、障がいのある子どもたちが楽しみながら自分の能力を伸ばし、やる気と勇気、自信を育むためのプログラムです。キャンプ、コンサート、絵画展などのほか、年間を通じて実施する体操、水泳、音楽、学習などのプログラムがあります。

● スポーツを通じて、心身の成長をサポートします。

障がいのある子どもたちを対象とした水泳スクールを定期的に開催し、心身ともに成長し、社会性を身につけるための機会を提供しています。また、ここで指導に関わったボランティアリーダーたちは、将来の教育者として巣立っていきます。

● 自然の中で、仲間とともに自然を体感します。

障がいのある子どもたちが、自然の中で様々な体験をする機会を提供しています。ふだんは家族に頼っている身の回りのことに挑戦したり、みんなで歌を歌ったり、仲間と一緒にそれぞれが楽しく過ごします。

● アートプログラムを通して社会性を身につけます。

障がいのある子どもたち向けに、アートプログラムを実施しています。音楽や美術などのクリエイティブワークを通じて、楽しみながら信頼関係をつくることで、YMCAが子どもたちとそのご家族にとって幸せな時間を過ごせる居場所となるようめざしています。

● 失敗も温かく受け入れられ、自分らしく安心して過ごせる場所です。

障がいのある子どもたちが安心してコミュニケーションできる場を提供しています。子どもたちは友だちをつくったり、失敗したり、成功したり、さまざまな経験のなかで社会性を身につけていきます。

The YMCA Challenged Children Programs aim to enhance the ability, self-confidence, potential, courage of these challenged children in a positive environment. The programs offer camps, concerts, art exhibitions, gymnastics, music, and educational support throughout the year.

● Supporting the Mental and Physical Growth of Children Through Sports

The YMCA holds swimming classes for children with intellectual challenges and offers an opportunity for them to grow both mentally, physically and to develop social skills. Moreover, volunteer leaders who participate and coach the children develop skills and many become future educators.

● Enjoying the Nature Together With Friends

Opportunities are provided for intellectually challenged children to experience various nature trips. Children who depend on their families for complete personal care are given the chance to demonstrate their abilities, sing songs and enjoy time with friends.

● Social Skills Are Taught Through Various Art programs

Art programs are offered to children with developmental disabilities. Through creative works such as music and art, the YMCA aims for the children to enjoy developing healthy relationships with other children as well as to create a comfortable environment for children and their families.

● Offering a Comfortable Environment for Children to Overcome and Accept Mistakes

Classes offer a comfortable environment for children with developmental disabilities to develop communication skills. Children develop various social skills while establishing friendships, overcoming failures and accepting mistakes.

● YMCAs of Japan

Established in London on 1884, the YMCA has grown into a worldwide organization supporting the development of all people of all ages with over 65,000,000 members in 120 countries. Since 1880, the YMCAs of Japan have organized volunteer and international relief programs, schools and other community educational programs, and wellness centers.

● The International Association of Y's Men's Club

Founded in 1922 in Ohio, and established in Japan in 1932, the Japan Y's Men's Clubs have expanded to 2,181 members in 134 clubs, and continue to actively support YMCA programs as well as other activities such as international friendship exchanges, community service, youth exchanges and homestays.



YMCA International Charity Run 2022 REPORT

みなさま、ありがとうございました。2022年は、全国7,591人にご参加いただき、27,261,301円のご支援をいただきました。

In 2022, 7,591 runners joined the charity run and received a total of 27,261,301yen. Thank you very much to all the supporters.



※開催地のある都道府県に色を付けています。地図中の色と、開催報告記事中の色は運動しています。

主催・共催 | Host/Co-host

全国各YMCA、ワイズメンズクラブ国際協会東・西日本区
YMCAs of Japan, The International Association of Y's Men's Club

全国協賛 | National Sponsor

三菱商事株式会社 Mitsubishi Corporation

全国賞品協賛 | National Prize Sponsor

マテル・インターナショナル株式会社

Matel International K.K.

デサントジャパン株式会社
DESCENT JAPAN LTD.

運営サポート | Supporting Sponsor

特定非営利活動法人 アンリシー・ポテンシャル
NPO Unleash Potential

全国後援

内閣府、厚生労働省、スポーツ庁、社会福祉法人 全国社会福祉協議会
Under the Auspices of Cabinet Office, Ministry of Health, Labor and Welfare, Japan Sports Agency, Japan National Council of Social Welfare

第27回 北海道YMCAインターナショナル・チャリティーラン2022 The 27th Hokkaido YMCA International Charity Run 2022

開催日	2022 年 5 月 15 日～7 月 31 日	Date	May 15～Jul. 31, 2022
開催場所	Web 上	Venue	Online
寄付金総額	229,000 円	Total Donation	229,000 yen
参加チーム	11 チーム	Total teams	11 teams
参加ランナー	87 名	Total Runners	87 runners

後援 | 北海道、札幌市、札幌市教育委員会、札幌市西ロータリークラブ、札幌ワイズメンズクラブ、札幌北ワイズメンズクラブ、北見ワイズメンズクラブ、ワイズメンズクラブ北海道
協賛・協力・参加 | ジョンソンコントロールズ社、札幌 YMCA 英語・コミュニケーション専門学校



第4回 盛岡YMCAインターナショナル・チャリティーラン2022 The 4th Morioka YMCA International Charity Run 2022

開催日	2023 年 3 月 5 日	Date	Mar. 5, 2023
開催場所	岩手県立大学 体育館	Venue	Iwate Prefectural University
寄付金総額	423,500 円	Total Donation	423,500 yen
参加チーム	26 チーム	Total teams	26 teams
参加ランナー	116 名	Total Runners	116 runners

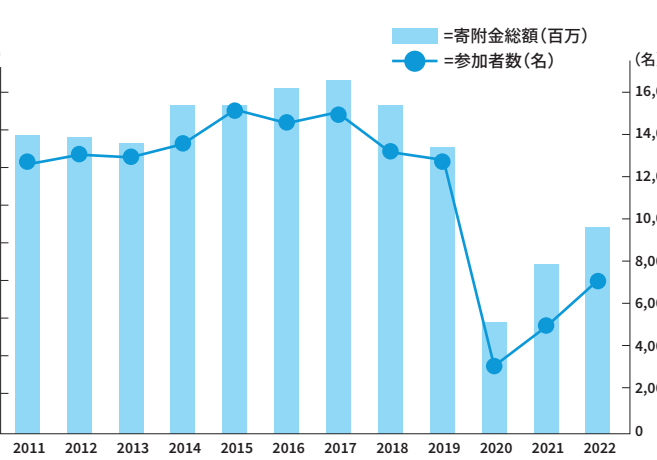
協賛・協力・参加 |(有)渥美工務店、井上修三、一般財団法人若手要隣協会東八幡平病院、(株)若手朝日テレビ、(有)若手浄化槽管理センター、(株)若手ホテルアンドリゾート、(株)若手めんこいテレビ、若手山姥走り温泉いこいの村、御菓子司山椒、小笠原健造、(株)金澤銅業、菊池弘生、(有)若手環境保全、(株)北日本銀行、(有)熊谷工業、(株)興和電設、(株)こぐま社、佐々木清喜、(有)サン不動産、(株)関商会、第一生命保険(株)盛岡支社都南営業オフィス、(株)テレビ若手、天神町薬局、(株)中原商店、(有)ニース開発、Neobest 盛岡、人見晃弘、(株)平金商店、フジリオン若手(株)、(株)フジリオンテクノロジー、文化企業(株)、(株)三田商店、みちのくプロレス、もりおかワイズメンズクラブ、盛岡ニッポン(株)、(有)横手飯金銅業所、(株)楽天野球団、Rashiku(株)、(株)理水興業、わらしん井

第28回 仙台YMCAインターナショナル・チャリティーラン2022 The 28th Sendai YMCA International Charity Run 2022

開催日	2022 年 9 月 23 日(中止)	Date	Sep. 23, 2022 (Cancelled)
寄付金総額	267,500 円	Total Donation	267,500 yen



※開催地のある都道府県に色を付けています。地図中の色と、開催報告記事中の色は運動しています。



YMCAインターナショナル・チャリティーラン寄附金総額と参加者数
The YMCA International Charity Run Participation fee and grand total of donation received and number of participants

第8回 茨城YMCAインターナショナル・チャリティーラン2022 The 8th Ibaraki YMCA International Charity Run 2022

開催日	2022 年 11 月 12 日	Date	Nov 12, 2022
開催場所	みどりのセンター本館	Venue	Midorino Center Main Building
寄付金総額	620,000 円	Total Donation	620,000 yen
参加チーム	17 チーム	Total teams	17 teams
参加ランナー	78 名	Total Runners	78 runners

協賛・協力・参加 | 石橋税務会計事務所、一誠商事(株)つくば本社、イナノバ流通青果、(株)いなもと印刷、(株)茨城新聞社、茨城ワイズメンズクラブ、えほんやなずな、(株)大島工務店、小野崎商店ランティス(株)東アコースの会、(有)コートダジュール、コストコホールセーリジャパン(株)つくば倉庫店、さかば牧場、常陽小学生新聞、関影商事(株)、(株)大栄観光、(株)塚本建築、(株)筑波銀行本店、(株)つくば総連、Garden Support、茨城県立つくば工科高等学校、土浦ケーブルテレビ(株)、(株)フィリッパ・ジャパン



第15回 とちぎYMCAインターナショナル・チャリティーラン2022 The 15th Tochigi YMCA International Charity Run 2022

開催日	2022 年 10 月 9 日	Date	Oct 9, 2022
開催場所	道の駅うつのみやろまんちゅ村 にぎわい広場	Venue	Michinoeki Utsunomiya Romantic Village
寄付金総額	1,075,475 円	Total Donation	1,075,475 yen
参加チーム	25 チーム	Total teams	25 teams
参加ランナー	175 名	Total Runners	175 runners

後援 | 栃木県、栃木県教育委員会、栃木県社会福祉協議会、宇都宮市、宇都宮市教育委員会、宇都宮市社会福祉協議会、宇都宮市障害者福祉会連合会、栃木県看護協会、下野新聞社、NHK 宇都宮放送局、とちぎテレビ、栃木放送、エフエム栃木、宇都宮ケーブルテレビ、コミュニティFM 宇ラジ

協賛・協力・参加 |(株)アイケーコーポレーション、(株)足利銀行、(有)イシザキスポーツ、宇チゴノキ、岩村建設(株)、インクルーシブダンスぱれっと、上野文員(株)、宇都宮ケーブルテレビ、宇都宮中央ライオンズクラブ、(株)小野里見建築トリエ、(株)大塚カラー、小笠原千恵子、上戸家小子どもの家、上戸クラブ、(有)菊地自動車修理工場、杏林堂 藤田病院、(有)くすの木、コストコホールセーリジャパン(株)、古山遊美、(株)小堀建設、(有)佐藤協会、さくらんぼ会有志、(株)三和企商、(株)三和メック、NPO 法人シェハッピーエール、(医)白澤病院、鈴木悦子、宝木小子どもの家・チャイルドクラブ、(株)田上財務経営センター、田代接骨院、(株)田中工業、DUSKIN レントオール宇都宮ステーション、東光スポーツ、(有)栃木ひかりのくに、戸祭小子どもの家、とちのみ会、中澤繁次、西が岡小子どもの家、とちまこ広場、西那須野幼稚園、(株)日本栄養給食協会、パンパルック、(株)ファーマーズ・フォレスト、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)、フタバ食品(株)、細谷小子どもの家・アドベンチャークラブ、(医)村井クリニック、柳田孝、山口住宅産業(有)、米耕ひで子、(株)ロイエ、那須野ワイズメンズクラブ、とちぎ YMCA Challenged グループ、とちぎ YMCA ジュニアボランティアリーダー、とちぎ YMCA ユースボランティアリーダー、とちぎ YMCA ユースボランティアリーダー OBOG

第1回 ぐんまYMCAインターナショナル・チャリティーラン2022 The 1st Gunma YMCA International Charity Run 2022

開催日	2023 年 3 月 5 日	Date	Mar 5, 2023
開催場所	玉山運動場	Venue	Ousan Sports Ground
寄付金総額	80,000 円 Total Donation 80,000 yen		
参加チーム	7 チーム Total teams 7 teams		
参加ランナー	35 名 Total Runners 35 runners		



後援 | 前橋市

第23回 埼玉YMCAインターナショナル・チャリティーラン2022 The 23rd Saitama YMCA International Charity Run 2022

開催日	2022 年 11 月 3 日	Date	Nov 3 Sat, National Holiday
開催場所	所沢航空記念公園	Venue	Koku Kinen Park
寄付金総額	995,174 円	Total Donation	995,174 yen
参加チーム	18 チーム	Total teams	18 teams
参加ランナー	177 名	Total Runners	177 runners

後援 | 埼玉県、埼玉県教育委員会、(公財)埼玉県公園緑地協会、(福)埼玉県社会福祉協議会、(福)所沢市社会福祉協議会、所沢市、所沢市教育委員会、(一社)所沢市医師会、(公社)所沢市鍼灸師会、(一社)所沢市業道整備協会、(一社)所沢市歯科医師会、埼玉県青少年連絡協議会、(一社)所沢市業道協会
協賛・協力・参加 | 東酒造(株)、(株)伊藤園、櫻町すこやか整骨院、大峰館、カッTomazing錦、上新くろかわクリニック、ガールスカウト埼玉県第 36 団、群馬県丸沼高原スキー場、コストコホールセーリジャパン(株)、燐クリン(株)、生活協同組合コープみらい、セイリオン(株)、田中電気(株)、所沢市医師会、所沢市歯科医師会、所沢ユニバーサルスポーツ応援団、武州ガス(株)、有貴歯科クリニック、ライオン(株)、リトルダサース、わいわい食堂、川越ワイズメンズクラブ、埼玉ワイズメンズクラブ、所沢ワイズメンズクラブ、埼玉 YMCA 会員・講師・ユースリーダー



第25回 千葉YMCAインターナショナル・チャリティーラン2022 The 25th Chiba YMCA International Charity Run 2022

開催日	2022 年 10 月 29 日	Date	Oct 29
開催場所	船橋市運動公園陸上競技場	Venue	Funabashi Athletic Park track-and-field arena
寄付金総額	625,325 円	Total Donation	625,325 yen
参加チーム	17 チーム	Total teams	17teams
参加ランナー	122 名	Total Runners	122runners

後援 | 千葉県、千葉県教育委員会、千葉県社会福祉協議会、船橋市、船橋市教育委員会、船橋市社会福祉協議会
協賛・協力・参加 | お菓子工房あもにい、(福)オリープの樹オリープ舞、緑好き工房空と海、行田公園走友会、コストコホールセーリジャパン(株)幕張、(学)芝学園 薫幼稚園、Confiance Hair Salon、Sudo-Bags、スペシャルオリンピックス日本・千葉袖ヶ浦、Three x Seven、(株)セキネ、潮子エステサロン、千葉救助犬協会、(株)トラスティック、多機能型事業所とまき、日本キリスト教団船橋教会、日本キリスト教団船橋教会付属シオシ幼稚園、日本ベテランズ倶楽部、日本聖公会千葉復活教会、(有)林牛乳店、boulangerie dodo、富士山 YMCA グローバル・エコ・ビレッジ、船橋はふぶき、船橋中学校演劇部、翠川理士事務所、NPO 法人みんなのいすチャオ、ライフパートナーのと、石丸隆史、大垣正明、大平笑子、佐野和子、志村佐知子、長尾昌男、西村容子、平田真穂、真鍋泉、一般ボランティアの皆様、ワイズメンズ国際協会東日本区千葉ワイズメントウエイズメンズクラブ、ワイズメンズ国際協会東日本区千葉ワイズメンズクラブ、千葉 YMCA リーダー OBOG 会、千葉 YMCA 会員・リーダー会、千葉 YMCA 船橋地域で運営委員



第36回 東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン2022 The 36th Tokyo YMCA International Charity Run 2022

開催日	2022 年 10 月 15 日～30 日	Date	Oct 15-30, 2022
開催場所	Web 上	Venue	Online
寄付金総額	5,327,512 円	Total Donation	5,327,512 yen
参加チーム	46 チーム	Total teams	46 teams
参加ランナー	1044 名	Total Runners	1044 runners

後援 | 江東区、東京都
協賛・協力・参加 | イオン(株)、上田八木短資(株)、岡谷エレクトロニクス(株)、o9 solutions Japan KK、カーギルジャパン合同会社、(株)恵愛、日本電鉄(株)、(福)賛育会、ステートスリート・ジャパン、端数倶楽部、YM サービズ(株)

後援 | 千葉県、東京都
協賛・協力・参加 | イオン(株)、上田八木短資(株)、岡谷エレクトロニクス(株)、o9 solutions Japan KK、カーギルジャパン合同会社、(株)恵愛、日本電鉄(株)、(福)賛育会、ステートスリート・ジャパン、端数倶楽部、YM サービズ(株)

後援 | 神奈川県、神奈川県社会福祉協議会、横浜市市民局、NHK 横浜放送局、横浜市社会福祉協議会、神奈川県レクリエーション協会、(株)神奈川新聞社、公益財団法人よこはまユース、横浜商工会議所、(株)テレビ神奈川

協賛・協力・参加 | アンドウ電気照明(株)、アサヒ飲料販売(株)横浜南支店、(株)市川総業、(株)伊藤園神奈川東地区営業推進課、上野グループホールディングス(株)、小倉会計事務所、(有)海米電気、(福)日本医療進協会衣笠病院グループ、(株)京三製作用、GOLDEN FORTRESS INTERNATIONAL(株)、坂本クリニック、サントリーバレーシヨーション(株)首都圏第四支社、湘南ひかりのくに(株)、(株)千秀グローバルメディアリアル事業部、(株)孫悟空、タカノエ、タカノシ乳業(株)、(株)ダイイチ、ダイドードリンコ(株)首都圏第一営業部、Chubb 損害保険(株)、テク



ノイズ(株)、共に歩む会、東京キリンビレッジサービス(株)横浜支店、(株)日栄ビルサービス、(株)プレジャー、(株)ボテリ、ニューブランド、丸全昭と運輸(株)、(株)ヨコソー、(株)横浜銀行、(有)ワイコーボレーション、ワイズメンズクラブ湘南・沖浦部、横浜ワイズメンズクラブ、鎌倉ワイズメンズクラブ、横浜とつかワイズメンズクラブ、厚木ワイズメンズクラブ、金沢八景ワイズメンズクラブ、横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブ、横浜つるみワイズメンズクラブ、横浜 YMCA 賛助会

第24回 山梨YMCAインターナショナル・チャリティーラン2022 The 24th Yamanashi YMCA International Charity Run 2022

開催日	2022 年 5 月 21 日	Date	May 21, 2022
開催場所	小瀬スポーツ公園 補助競技場	Venue	Kose Sports Park auxiliary stadium
寄付金総額	1,960,177 円	Total Donation	1,960,177 yen
参加チーム	36 チーム	Total teams	36 teams
参加ランナー	130 名	Total Runners	130 runners

後援 | 山梨県、甲府市、(福)山梨県社会福祉協議会、(福)甲府市社会福祉協議会、公益財団法人 山梨県スポーツ協会、公益財団法人 甲府市スポーツ協会、特定非営利活動 山梨県ボランティア協会、山梨県肢体不自由児協会、(福)山梨県障害者福祉協会、甲府市障害者団体連絡協議会、公益財団法人 山梨県青少年協会、山梨県青少年団体連絡協議会、国際ソロボピュリスト(山梨、山梨・南)、甲府商工会議所、一般社団法人 甲府青年会議所、日本赤十字社山梨県支部、ロータリークラブ(甲府、甲府東、甲府西、甲府シティ、甲斐、山梨、笹吹)、ライオンズクラブ(甲府北、甲府シティ、甲府南、甲府中央、甲府、甲府東、甲府舞鶴、甲府若葉)、国立大学法人山梨大学、山梨県立大学、学校法人 C2C Global Education Japan、学校法人山梨英和学院、朝日新聞 甲府総局、読売新聞 甲府支局、毎日新聞 甲府支局、産経新聞 甲府支局、(株)テレビ山梨、(株)日本ネットワークサービス(甲府 CATV)、(株)エフエム富士、(株)エフエム甲府、(株)山梨新報社

協賛・協力・参加 | 秋山仁博、有限会社 アルファ測量、岩間孝吉、(株)ヴァンフォーレ 山梨スポーツクラブ、NHP ソリューション(株)、(株)エヌプラン、(株)オオキ、大和田造二、(株)岡島、(株)オキサイド、(株)オギノ、小倉税務会計事務所、長田結土木(株)、(株)オリエンタル、カワサキ(株)、(株)桔梗屋、橋田耳鼻咽喉科医療院、NPO 法人 甲府駅北口まじろく委員会、甲府西ロータリークラブ、甲府ロータリークラブ、甲府ワイズメット会、甲府 21 ワイズメット会、ゴールデンシテム(株)、国際建設(株)、こくみん共済 COOP 山梨推進本部、五光電工(株)、(株)米福、笹一酒造(株)、サトウオートショップ、さとう建築事務所、(株)サンカイコ、(株)サンクムラヤ、(株)サンテレコム、山日 YBS グループ、山陽エンジニアリング(株)、シメキフォトスタジオ、(株)シャルム、昭和測量(株)、鈴木税理士事務所、大栗設備(株)、(株)ダイタ、武田食品(株)、(株)談露館、中央労働金庫山梨本部、(株)内藤ハナ子、中島医院、(株)ニュー平和、(株)早野組、原口内科・腎クリニック、富士冷暖(株)、フローリストあかね、(株)フロロティア、ボニスカウト甲府第 5 団カワ藤、マコト医科精機(株)、(株)マルモ、マンズウエー、大阪西ワイズメンズクラブ、大阪茨木ワイズメンズクラブ、大阪なかのしまワイズメンズクラブ、大阪サウスワイズメンズクラブ、大阪河内ワイズメンズクラブ、大阪長野ワイズメンズクラブ、大阪東北ワイズメンズクラブ、奈良ワイズメンズクラブ、大阪 YMCA 各事業所、(福)ひびき福祉会ワークセンター、帝塚山大学、ワイ de さかい、大阪 YMCA 国際奨学生



定所、永機建設、エコテック山根商店、OES(株)、大橋歯科医院、(株)三三子、上地信爾、大橋章子、(株)三井建設、河野仁、神谷尚孝、神崎清一、北村寛史、飯田由佳、正野忠之、鈴木卓哉、高橋千香子、中井信一、鍋谷まこと、西田寛人、濱田航、人見晃弘、平岩貴、福本佳実、野塚忠和、松川和子、松栗大輔、宮田憲一、望月隆、山口ルミ、横田憲子、吉岡正明、ワイズメンズクラブ国際協会西日本区阪和部、和歌山ワイズメンズクラブ、和歌山紀の川ワイズメンズクラブ、奈良ワイズメンズクラブ、(福)奈良 YMCA



第27回 大阪YMCAインターナショナル・チャリティーラン2022 The 27th Osaka YMCA International Charity Run 2022

開催日	2022 年 11 月 13 日	Date	Nov 13, 2022
開催場所	花博記念公園園緑地特設コース	Venue	Hanahaku Memorial Park
寄付金総額	1,571,469 円	Total Donation	1,571,469 yen
参加チーム	91 チーム	Total teams	91 teams
参加ランナー	256 名	Total Runners	256 runners

後援 | 大阪府、守口市、大阪市鶴見区、大阪府教育委員会、(社)福)大阪府社会福祉協議会、(社)福)大阪市社会福祉協議会、(社)福)大阪ボランティア協会、(公財)関西青少年育成事業所、(一財)大阪府青少年文化財団、(一社)大阪府青年会議所、NHK 厚生文化事業団近畿支部、日本経済新聞社大阪本社、ラジオ大阪

協賛・協力・参加 |(株)RJAPAN、アマゾンジャパン(同)、(株)掛谷工務店、(株)神川工務店、コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)、(株)サンケイビルネジメジ、ジョンソンコントロールズ(株)、(株)新日本空調サービス大阪、ダイビル(株)、三菱商事(株)関西支社、大谷茂、中井信一、中井正博、ワイズメンズクラブ国際協会西日本区中部、ワイズメンズクラブ国際協会西日本区阪和部、大阪ワイズメンズクラブ、大阪佐仕細ワイズメンズクラブ、大阪セテニアルワイズメンズクラブ、大阪西ワイズメンズクラブ、大阪茨木ワイズメンズクラブ、大阪なかのしまワイズメンズクラブ、大阪サウスワイズメンズクラブ、大阪河内ワイズメンズクラブ、大阪長野ワイズメンズクラブ、大阪東北ワイズメンズクラブ、奈良ワイズメンズクラブ、大阪 YMCA 各事業所、(福)ひびき福祉会ワークセンター、帝塚山大学、ワイ de さかい、大阪 YMCA 国際奨学生



後援 | 大阪府、守口市、大阪市鶴見区、大阪府教育委員会、(社)福)大阪府社会福祉協議会、(社)福)大阪市社会福祉協議会、(社)福)大阪ボランティア協会、(公財)関西青少年育成事業所、(一財)大阪府青少年文化財団、(一社)大阪府青年会議所、NHK 厚生文化事業団近畿支部、日本経済新聞社大阪本社、ラジオ大阪

第24回 神戸YMCAインターナショナル・チャリティーラン2022 The 24th Kobe YMCA International Charity Run 2022

開催日	2022 年 11 月 23 日	Date	Nov 23, 2022
開催場所	しあわせの村	Venue	Shiawase-no-Mura
寄付金総額	666,403 円	Total Donation	666,403 yen
参加チーム	31 チーム	Total teams	31 teams
参加ランナー	185 名	Total Runners	185 runners

協賛・協力・参加 | ケンミン食品(株)、東光碍子(株)、サンヨー環境(株)、余島り輝子会、三宮 YMCA リーダー会、宝塚ワイズメンズクラブ、戸塚ワイズメンズクラブ、西宮ワイズメンズクラブ、神戸西ワイズメンズクラブ、学園都市ワイズメンズクラブ、神戸ポートワイズメンズクラブ、神戸ワイズメンズクラブ



第11回 奈良YMCAインターナショナル・チャリティーラン2022 The 11th Nara YMCA International Charity Run 2022

開催日	2022 年 10 月 23 日	Date	Oct 23, 2022
開催場所	平城宮跡	Venue	Heijokyu historical site
寄付金総額	1,283,249 円	Total Donation	1,283,249yen
参加チーム	56 チーム	Total teams	56 teams
参加ランナー	365 名	Total Runners	365 runners

後援 | 奈良県、奈良県教育委員会、奈良市、奈良テレビ放送、NHK 奈良放送局、(独)国立文化財機構奈良文化財研究所、毎日新聞奈良支局、奈良新聞社、産経新聞社、読売新聞奈良支局、朝日新聞奈良総局
協賛・協力・参加 | 奈良トヨペット(株)、(株)南都銀行、佐藤業工業(株)、アチーブメント(株)、内田会計事務所、(株)ウヤマスポーツ、共同精版印刷(株)、有限会社プリンスポーツ、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)、山田工業、小山(株)、サザン(株)、佐藤公一法律事務所、JW マット・ホテル奈良、南照亭、常福亭、スポーツスポーツゼオ奈良店、(株)スポーツ館ミツシイ、イオンモール大和郡山、セコム(株)西大寺営業所、ダイドードリンコ(株)、(株)タカシタ保険事務所、(株)高木包装、(株)チャイルド社奈良営業所、天然大和温泉奈良健康ランド、奈良ラフザボウル、(株)内藤建築事務所 三友建築事務所、奈良 OAS ンステック、奈良新聞社、奈良観光バス(株)、奈良県生活共同組合連合会、奈良養老学校、奈良豊澤酒造(株)、奈良西ライオンズクラブ、奈良西ロータリークラブ、奈良ロイヤルホテル、早川行政サービス事務所、医療法人真和会 歯歯科医院、(株)阪神眼科開発、(株)ヒマラヤ精華本店、百業 奈良店、医療法人真和会 ファミリー歯科診療所、(株)フィリップスジャパン、(有)細田産業、(株)ホテル日航奈良、マッシュ総研(株)、前川(株)奈良営業所、前田司法書士事務所、明光開



発、和太和田信宜金庫 西大寺支店、(株)横田福栄堂、(株)Reflect、リッパ建設(株)、ローソン西大寺南商店、岩本三三子、上地信爾、大橋章子、(株)三井建設、河野仁、神谷尚孝、神崎清一、北村寛史、飯田由佳、正野忠之、鈴木卓哉、高橋千香子、中井信一、鍋谷まこと、西田寛人、濱田航、人見晃弘、平岩貴、福本佳実、野塚忠和、松川和子、松栗大輔、宮田憲一、望月隆、山口ルミ、横田憲子、吉岡正明、ワイズメンズクラブ国際協会西日本区阪和部、和歌山ワイズメンズクラブ、和歌山紀の川ワイズメンズクラブ、奈良ワイズメンズクラブ、(福)奈良 YMCA

第8回 和歌山YMCAインターナショナル・チャリティーラン2022 The 8th Wakayama YMCA International Charity Run 2022

開催日	2022 年 4 月 29 日	Date	Apr. 29,
開催場所	和歌山市民スポーツ広場	Venue	Wakayama City Citizen Sports Square
寄付金総額	909,000 円	Total Donation	909,000 yen
参加チーム	8 チーム	Total teams	8 teams
参加ランナー	103 名	Total Runners	103 runners